

いちほら歴史のミュージアム整備事業 (仮称) いちほら歴史館 建築実施設計の概要

生涯学習部ふるさと文化課

(仮称) いちほら歴史館建築工事及び展示制作に係る実施設計業務が完了しました。

- (仮称) いちほら歴史館等増築及び改修工事 (実施設計委託)
履行期間 平成30年7月6日 ~ 平成31年3月22日
受注者 株式会社楠山設計
- (仮称) いちほら歴史館展示実施設計業務委託
履行期間 平成30年7月30日 ~ 平成31年3月22日
受注者 株式会社丹青社

実施設計業務の成果を基に、展示や体験学習等を通じて、市原市の歴史遺産の価値と魅力を伝えるとともに、市民の主体的な活動と交流の拠点となる「(仮称) いちほら歴史館」の整備を進めます。



(仮称) いちほら歴史館位置図

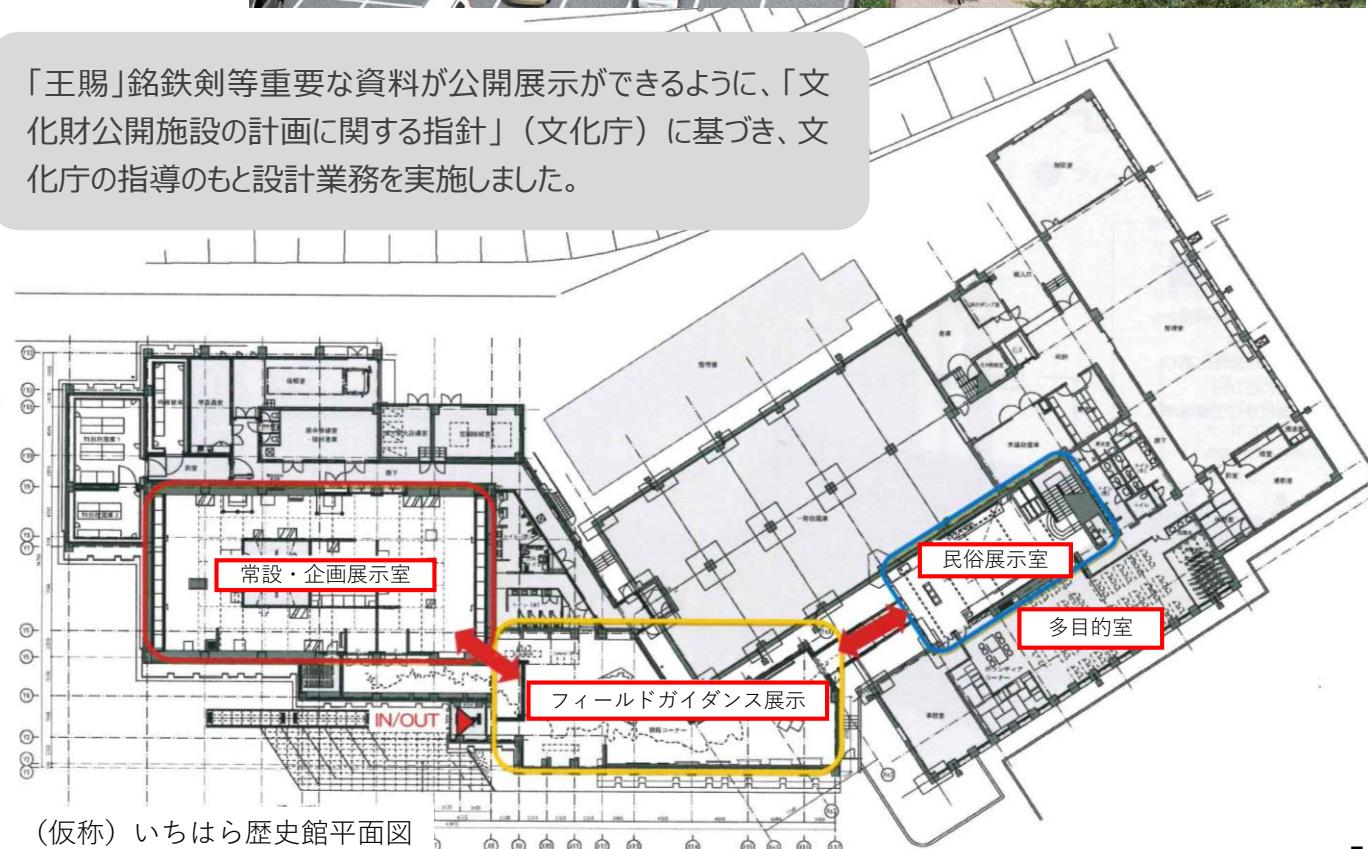
歴史館の整備と併せて、隣接する屋内ゲートボール場を体験館として整備し、体験学習の実施空間として活用します。

- 増築棟建設範囲
- 埋蔵文化財調査センター
- 既存棟改修範囲



外観鳥瞰イメージ

「王賜」銘鉄剣等重要な資料が公開展示ができるように、「文化財公開施設の計画に関する指針」(文化庁)に基づき、文化庁の指導のもと設計業務を実施しました。



(仮称) いちほら歴史館平面図

増築棟建設・既存棟改修範囲図

いちはら歴史のミュージアム整備事業 (仮称) いちはら歴史館 展示実施設計の概要と事業スケジュール

生涯学習部ふるさと文化課



展示整備イメージ

- 1 エントランス・情報コーナー
- 2 民俗展示室
- 3・4 常設・企画展示室
- 5 「王賜」銘鉄剣象徴展示

常設・企画展示室

- A. 自然環境への適応
- B. フサの原像
- C. 国府は市原郡にあり
- D. 民衆のちから
- E. 農漁村から工業都市へ

王賜銘鉄剣 象徴展示



※体験館整備は、今回の実施設計業務に含まれません。

(仮称) いちはら歴史館・体験館整備スケジュール

| 事業内容 | 平成31(2019)年度 | | | | 2020年度 | | | | 2021年度 | | | |
|---------|--------------|-------|-------|-----|--------|------------|-------|-----|--------|-----|-------|------|
| | 4~6 | 7~9 | 10~12 | 1~3 | 4~6 | 7~9 | 10~12 | 1~3 | 4~6 | 7~9 | 10~12 | 1~3 |
| 歴史館建設 | | | ●議案議決 | | | 一夏 | | | | 二夏 | | 開館★ |
| ふるさと文化課 | | ●議会説明 | | | | | | | | | | 資料搬入 |
| 体験館整備 | | | | | | ●公共施設検討委員会 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 開館★ |

■ 整備事業費の状況

| | 【基本設計段階】 | 【実施設計段階】 |
|----------|-------------|--------------------|
| ○ 建築工事 | 1,010,448千円 | 1,137,543千円 (継続費) |
| ○ 工事監理委託 | | 35,162千円 (継続費) |
| ○ 展示製作委託 | 434,160千円 | 442,200千円 (債務負担行為) |

※増額理由 消費税増税、ガス消火・排煙・空調設備工事、物価上昇

民俗展示室

F. 暮らしの姿と生活道具

■ 増築及び改修延床面積・・・1,640.11㎡

- 増築棟建築面積・・・1,234.16㎡
エントランスホール・情報コーナー 312.39㎡
常設・企画展示室 421.27㎡
- 既存棟改修面積・・・405.95㎡
民俗展示室 107.96㎡
多目的室 126.62㎡

■ エントランスホール・情報コーナー

歴史、祭事、自然などのリアルタイムな情報を紹介し、来館者を市内各地のフィールドへと導きます。また、通史展示では千葉大学と連携し、「触れる展示」を展開します。

■ 多目的室

80名規模の講座等開催にも対応し、市民等による歴史遺産を核とした活動のための空間とします。

■ 展示室

シンボル空間となる展示室中央には、「王賜」銘鉄剣の常設展示コーナーを設置します。

展示エリア鳥瞰イメージ